

# 2017年3月期 第1四半期 決算概要

2016年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

# 第1四半期 決算ハイライト

新・中期経営計画「バリュークリエーション2020」のスタートとなる第1四半期は、中国や欧州が好調に推移したものの、日本国内市場の停滞等により増収減益。

売上	連結	連結売上高は86億円となり、前年同期比でかろうじて増収を確保。
	日本	前年度は堅調に推移していた自動車、電子部品、家電等が軟調となり、前年同期比99%、38億円となった。
	中国	自動車関連が牽引役となり、現地通貨ベースでは前年同期比109%となったものの、円高の影響で、邦貨ベースでは101%、40億円にとどまった。
	その他	欧州、ベトナム等が好調に推移し、前年同期比105%、7億円となった。
利益		売上増加による利益増の効果はあったものの、日本国内工場の稼働低下による原価率の上昇、販管費の増加等もあり、営業利益は前年同期を1.4億円下回る3.3億円となった。同時に、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を下回った。
ネット資金		配当金支払い等により、期首からは4億円の減少となった。

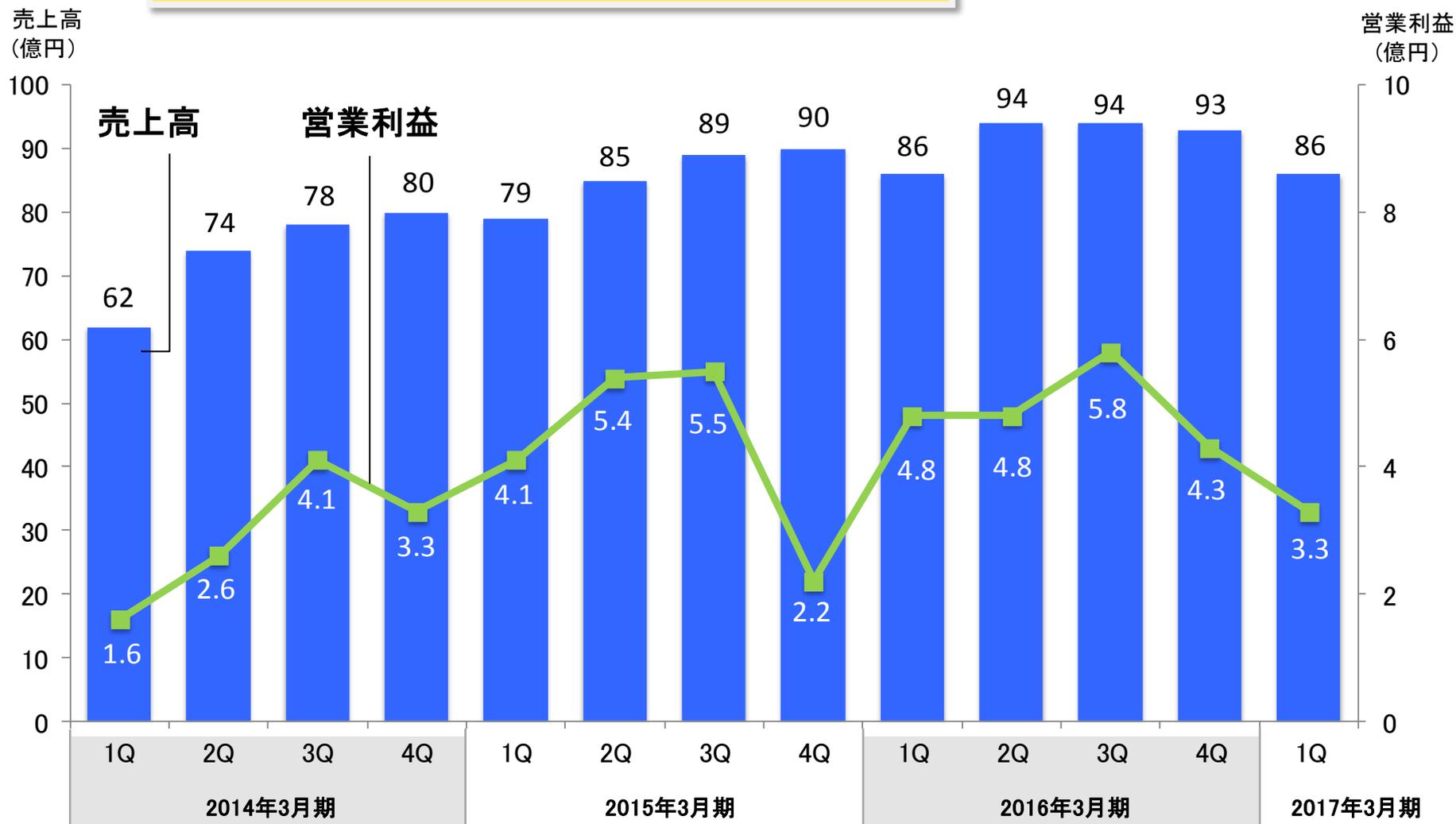
# 決算概況

(単位:百万円)

	2016年3月期 第1四半期		2017年3月期 第1四半期		前年同期差	前年同期比
売上高		8,591		8,658	66	100.8%
営業利益	5.6%	477	3.8%	331	▲146	69.3%
経常利益	5.1%	438	3.8%	330	▲108	75.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3.9%	335	2.4%	207	▲127	61.9%

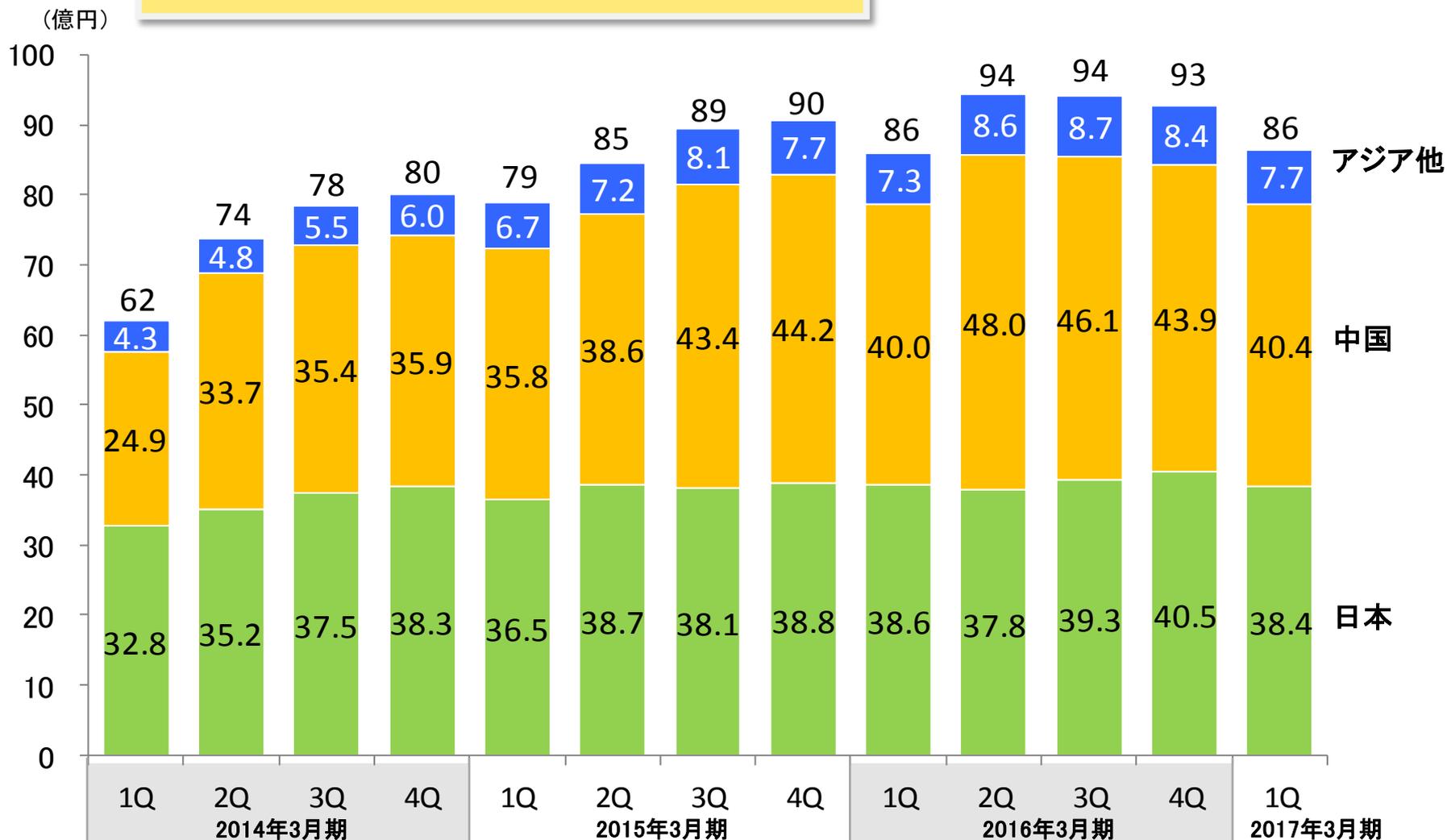
# 売上高と営業利益の推移

海外売上が連結売上高の増収に寄与。



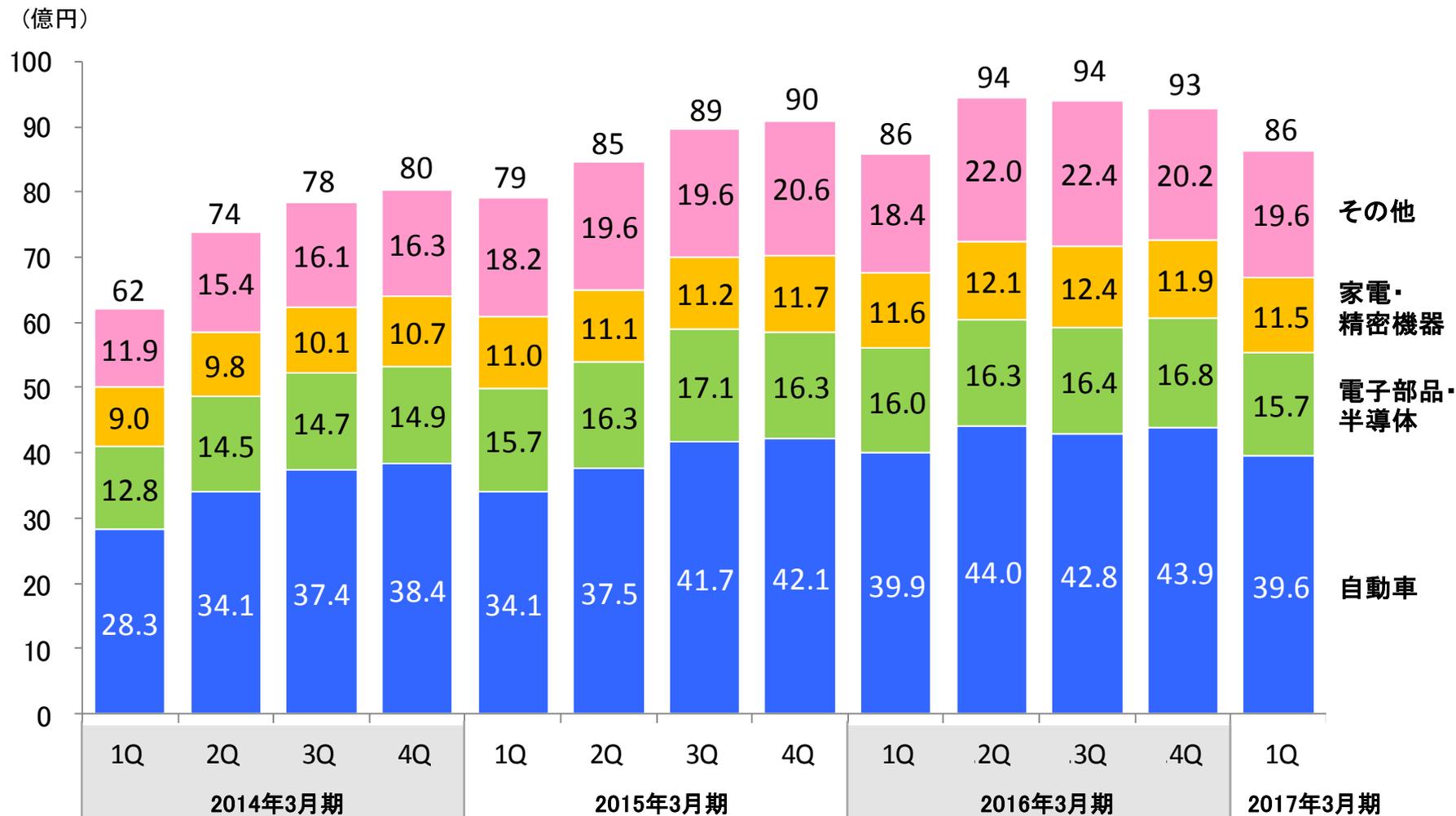
# 地域別売上高

中国が想定以上の売上を確保。



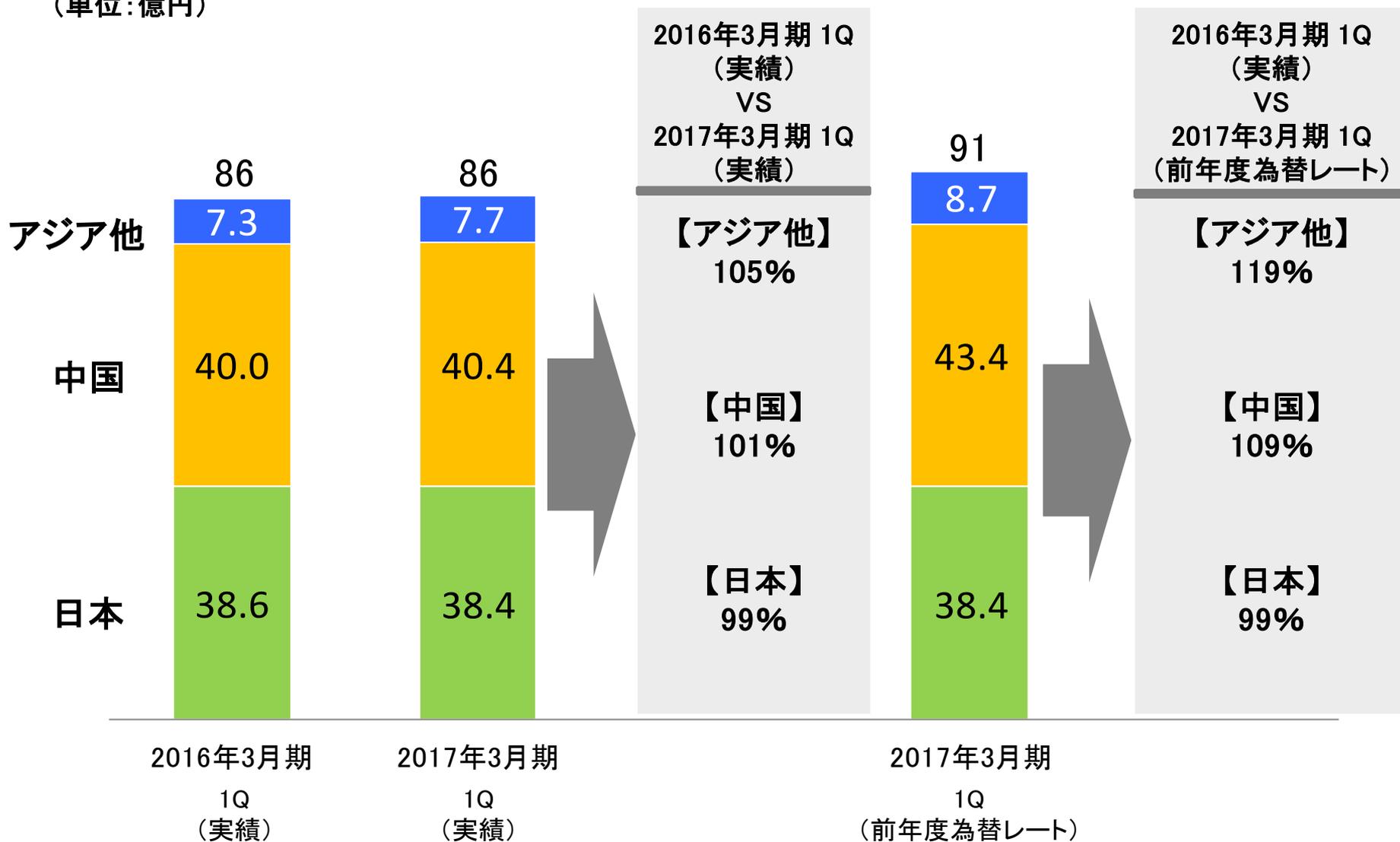
# 業種別売上高

精密機器が堅調に推移。



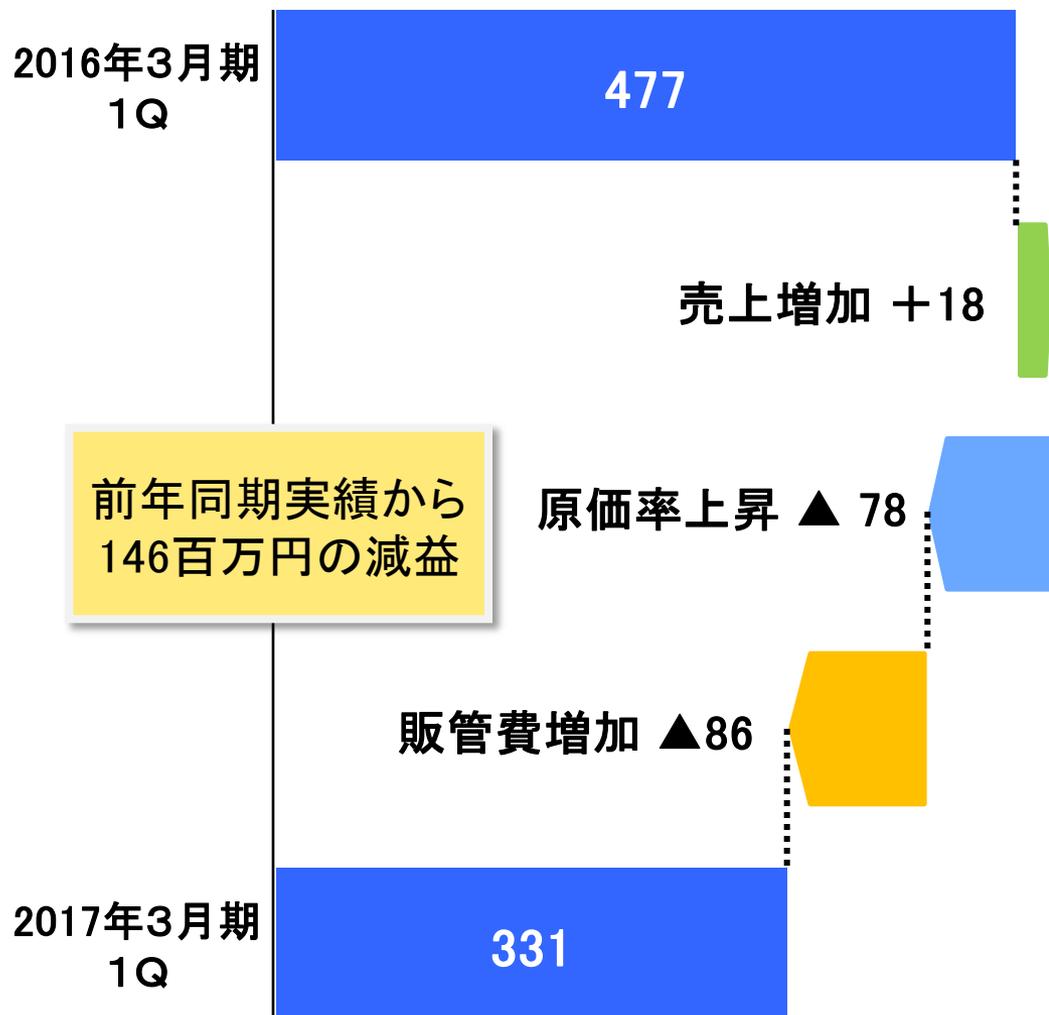
# 地域別売上高～前年度為替レートベース概算～

(単位:億円)



# 営業利益増減

(単位:百万円)



## 【売上の主な増減要因】

- ・中国、東南アジア、欧州等が伸びるも、為替の影響で18百万円の増収にとどまる

## 【原価率の主な増減要因】

- ・日本国内工場の稼働低下による原価率の上昇

## 【販管費の主な増減要因】

- ・研究開発費の増加
- ・リバースエンジニアリング事業のための人員、投資

# 財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,584	246
総負債	13,338	14,064	726
うち有利子負債	5,429	5,631	201
純資産	13,999	13,519	▲479
ネット資金	▲2,108	▲2,553	▲444
自己資本比率	51.2%	49.0%	▲2.2pt

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	193	395	201
減価償却費(無形固定資産含む)	343	331	▲11

# 2017年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高		36,755		37,000	244	100.7%
営業利益	5.4%	1,986	5.4%	2,000	13	100.7%
経常利益	4.5%	1,666	5.2%	1,935	268	116.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	3.4%	1,249	3.8%	1,400	150	112.1%
自己資本利益率 (ROE)		8.9%		9.6%	0.7pt	

2017年3月期  
配当予想

中間 13円 + 期末 13円 = 26円

# 参考資料

# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

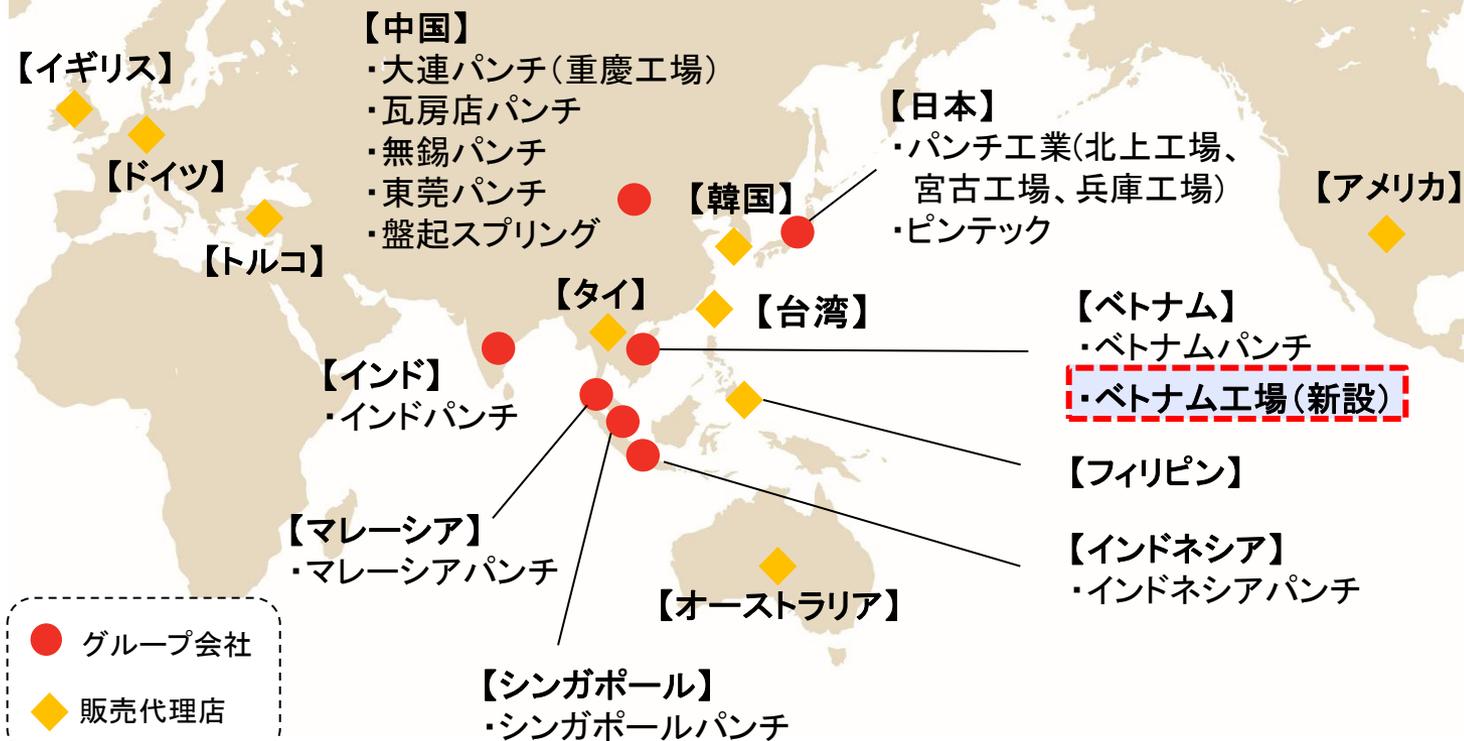
# パンチグループのネットワーク

## 生産拠点数

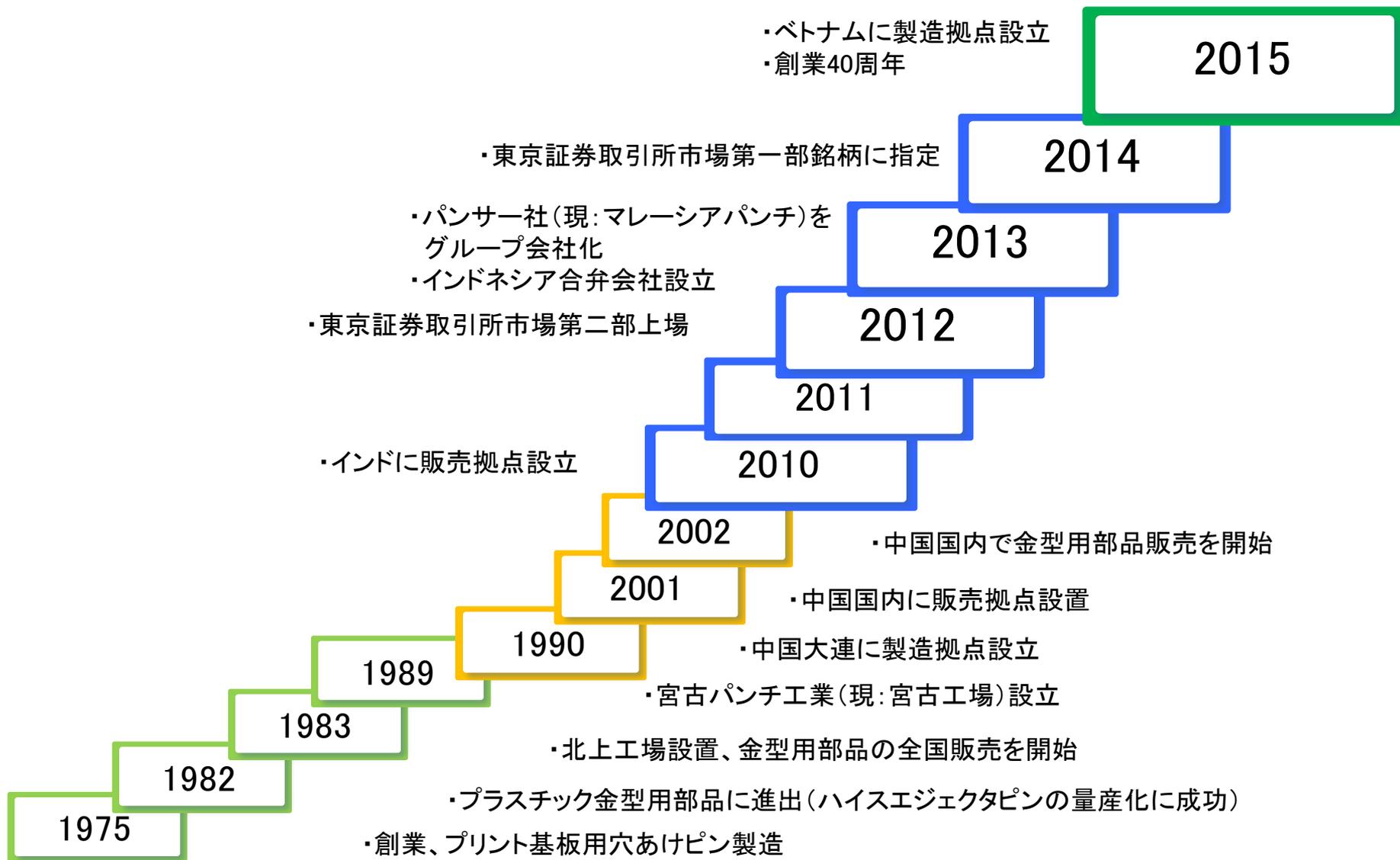
日本	海外
4	8
カ所	カ所

## 販売拠点数

日本	海外
14	38
カ所	カ所

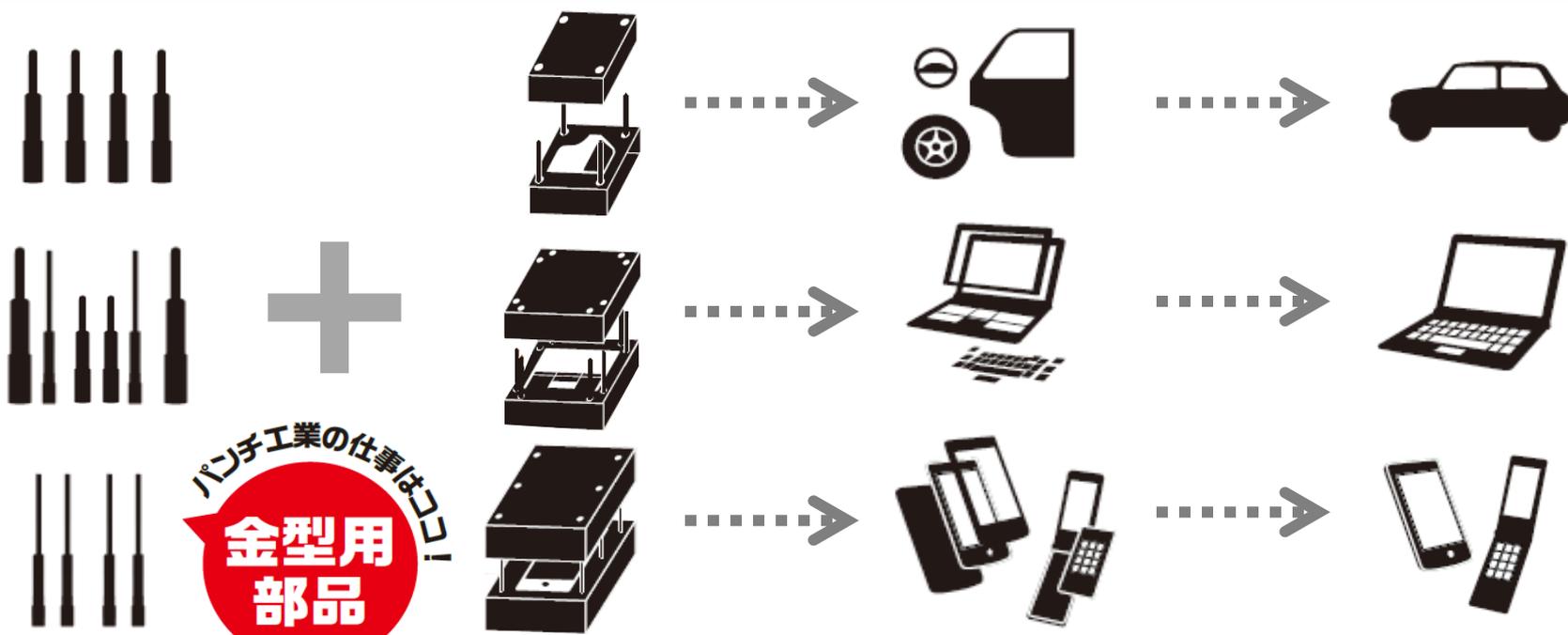


# 沿革



# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



## 金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

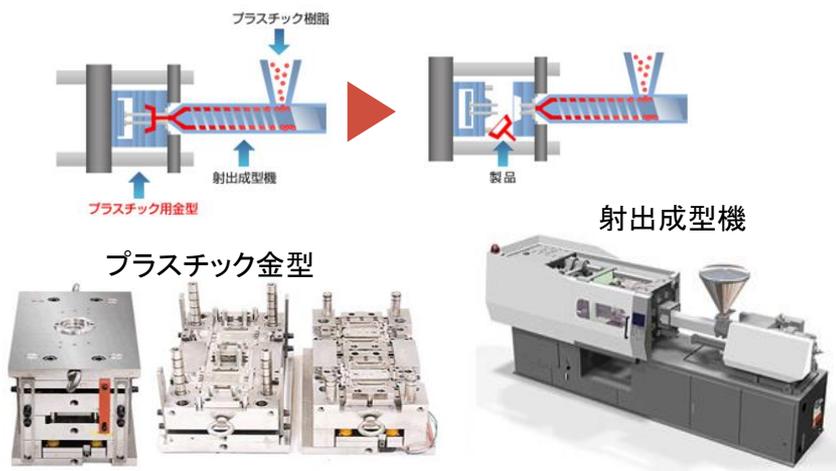
## 構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

## 製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

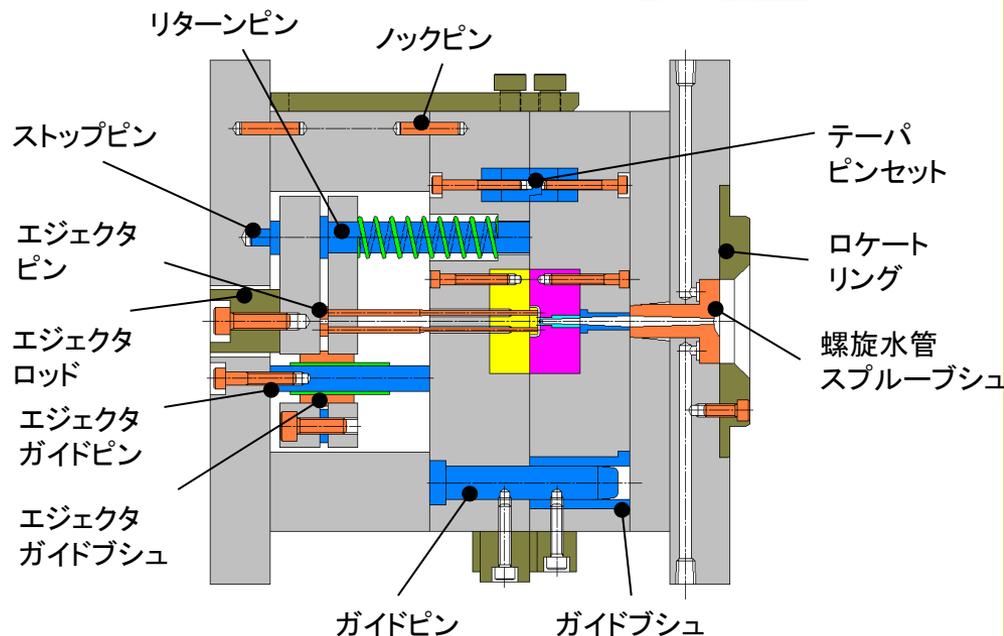
# プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング



## ●プラスチック金型用部品について

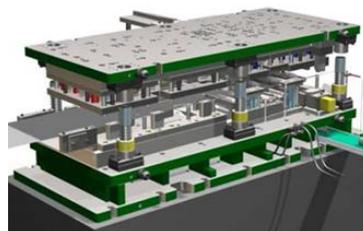
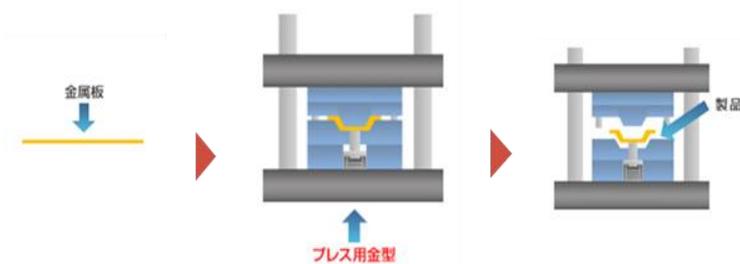
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

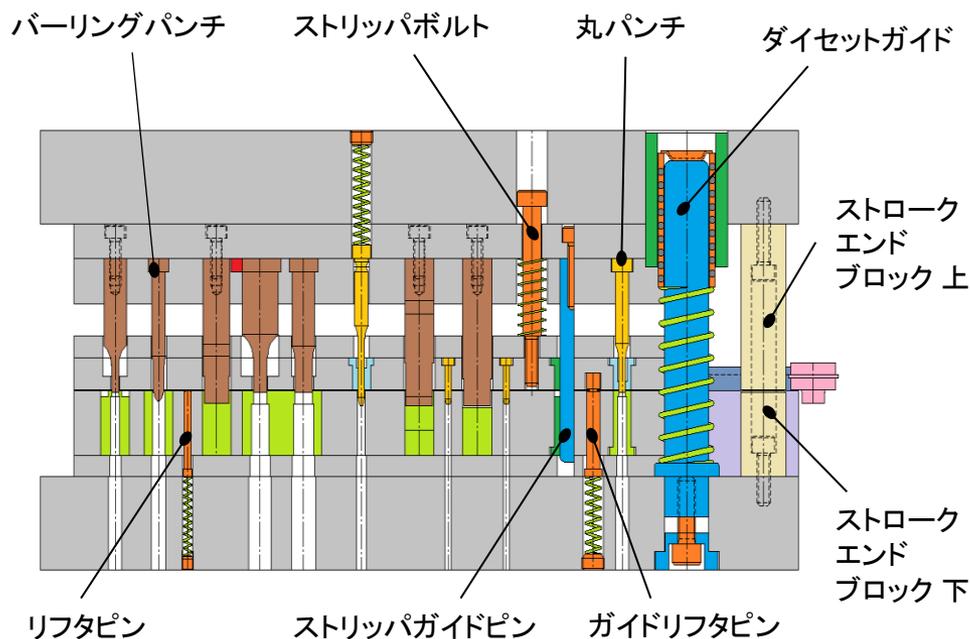
# プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



## ●プレス金型用部品について

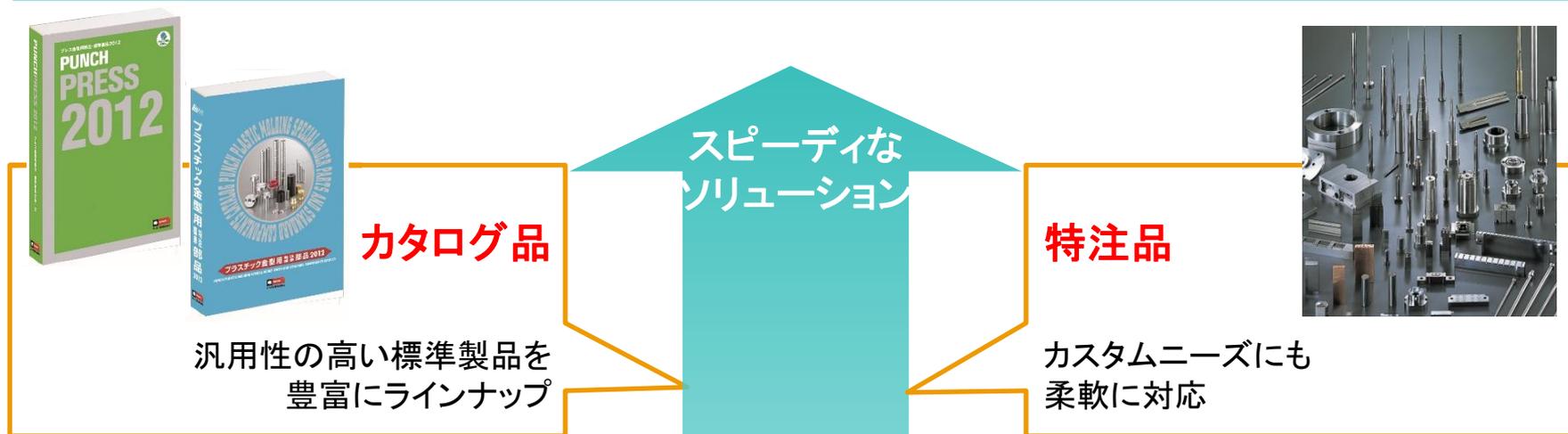
プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み

## お客様に高い満足度を提供



**一気通貫の生産体制**

1,800台の設備で幅広い対応力

**お客様密着型の営業体制**

きめ細かな対応・提案力

**高い技術力**

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

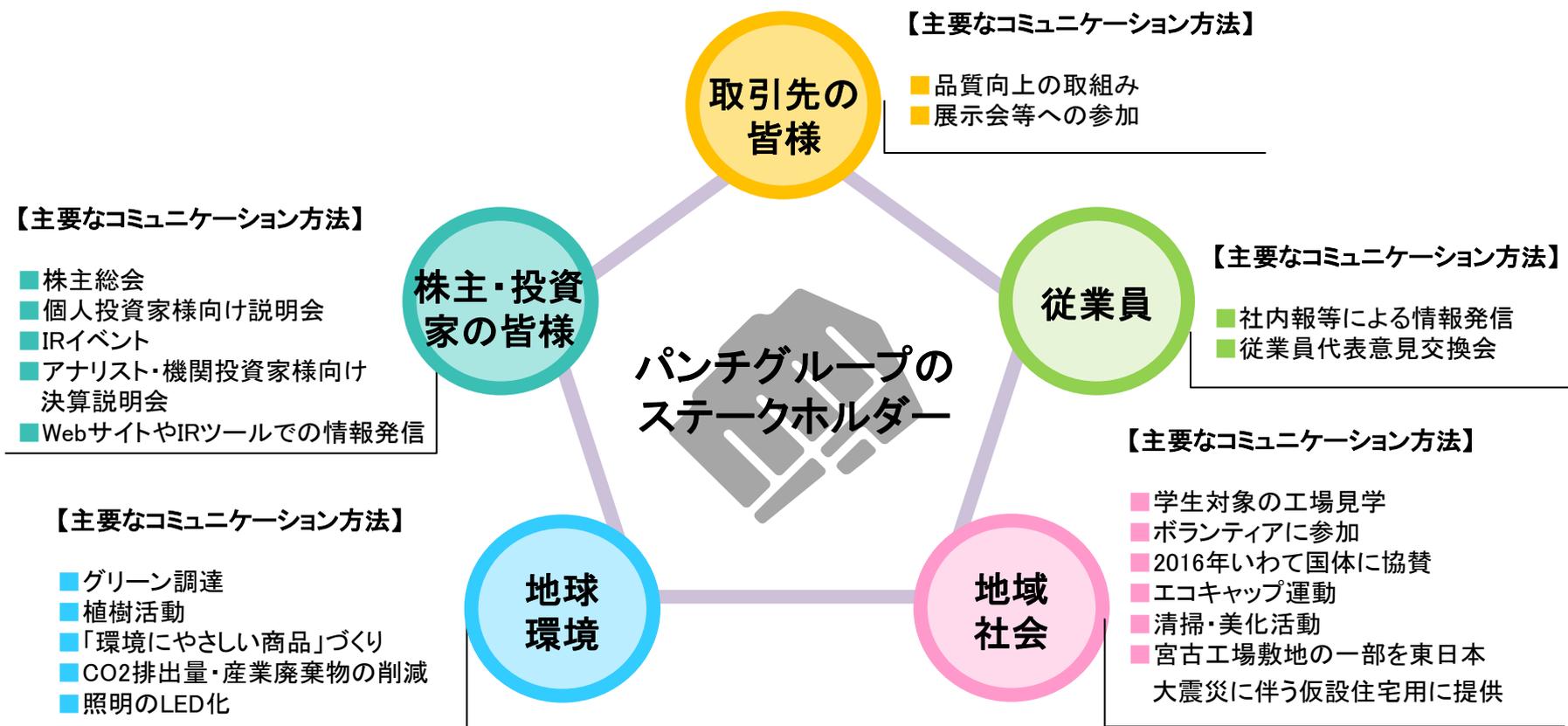
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】  
マラソンボランティアの様子

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。